

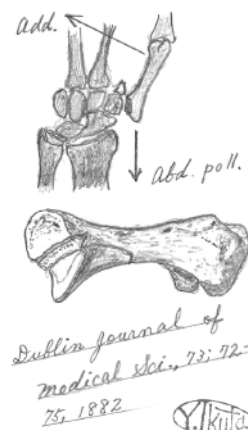
編集後記

★ 近年、日本の医療は深刻な経営危機に直面しており、とりわけ大学病院の経営状況は厳しさを増しております。ご存じのように物価や人件費の高騰、医薬品や医療材料費の上昇がある一方で、診療報酬は大幅には伸びていないという構造的問題があります。そもそも大学病院は高度医療を担う特定機能病院として、重症患者の受け入れや先進的治療を行います。それらは高コストであり、必ずしも十分な収益を生むとは限らない……というよりも全く割に合わない状況です。

★ もちろん大学病院は診療だけでなく「教育」と「研究」という重要な役割も担っており、医学生や研修医の教育には多くの人的・時間的資源が必要であり、研究活動は必ずしも病院に利益を生み出すわけではありません。加えて、働き方改革により医師の時間外労働が制限されコストダウンになればよいですが、逆に時間外を適切につけるようになり、(本来はよいことですが)時間外手当がむしろ増えてしまっています。また何より人事院勧告により人件費が激増し、病院経営を圧迫しております。地域医療の最後の砦として、不採算部門である救急医療や周産期医療、希少疾患医療を担うことも大学病院の使命であり、こうした公益的役割は社会に



Edward Hallaran Bennett (1837-1907) 生田義和 画 2026-4



不可欠ですが、市場原理に基づく経営の観点からは負担が大きく、結果として赤字経営に陥る大学病院が多いのが現状です。当院もご多分に漏れずここ数年厳しい状況となり、経営対策会議が頻回に行われ、以前では考えられないほどコスト削減の努力を行っております。

★ 待ちに待った2026年度の診療報酬改定では、医療機関が直面する経営環境の厳しさに対応するため、診療報酬本体は約3.09%の引き上げとなり、これは約30年ぶりの高水準とされます。この増加分の大部分は、医療現場

の人件費の賃上げ対応や物価高騰への対応に充てられています。この3%を多いと感じるか少ないと感じるかはそれぞれの病院によって異なると思います。大学病院にとっては、必ずしも十分とは言えません。第一に、物価や人件費の高騰の影響は3%を上回る水準に達しており、実質的には「補填」に近い側面があります。特に高度医療で使用する高額医療機器や医療材料、最新薬剤の価格

上昇は大きく、また都心部病院はクラークさんの人件費、病院食の原材料、清掃費に至るまでありとあらゆるコストが激増しており、大きな負担となっております。大学病院において「トントン」となるラインは4.5%引き上げとも試算されておりました。立春が過ぎ、そろそろ春の訪れの気配を感じる今日この頃ですが、大学病院「冬の時代」はまだまだ続きそうです……。

(吉井俊貴)

顧問	林 浩一郎	石井 良章	中村 孝志	高岡 邦夫	長野 昭	四宮 謙一
	岩本 幸英	星野 雄一	越智 光夫	遠藤 直人	大川 淳	
編集	松田 秀一	竹下 克志	安達 伸生	稲葉 裕	吉井 俊貴	
臨床雑誌	整形外科 77巻・4号(4月号, 第931冊)			2026年4月1日 発行		
編集兼発行者	東京都文京区本郷三丁目42-6			小立 健太		
印刷所	東京都江東区亀戸七丁目2-12			三報社印刷株式会社		
発行所	〒113-8410 東京都文京区本郷三丁目42-6			編集	TEL 03-3811-7619	FAX 03-3811-8660
株式会社 南江堂	https://www.nankodo.co.jp/			営業	TEL 03-3811-7239	

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物の利用に関する原著作者の権利は、(株)南江堂が保有します。

JCOPY (出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

広告申込所: 〒113-0033 東京都文京区本郷5-24-6 本郷大原ビル6階 文京メディカル TEL 03-3817-8036